

# 草津未来研究所 News Letter

## 第9回関西・自治体シンクタンク情報交流会に参加しました

草津未来研究所では、一般社団法人日本計画行政学会関西支部が主催された関西・自治体シンクタンク情報交流会に参加しました。情報交流会は、関西圏における自治体などのシンクタンクをメンバーとして、関西の自治体シンクタンクにおける研究成果の発信や意見交換の場として、開催されています。

情報交流会はZoomで開催され、同学会会員の大学教員や民間の研究所員と、自治体シンクタンク6機関から15人が参加しました。公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構から、兵庫県におけるeスポーツを活用した地域活性化の取組の研究報告が行われた後、各機関から昨年度の研究成果と今年度の研究紹介が行われました。

### 【参加機関】

- ・大阪府 大阪産業経済リサーチセンター
- ・豊中市 とよなか都市創造研究所
- ・公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
- ・姫路商工会議所 姫路経済研究所
- ・公益財団法人尼崎地域産業活性化機構
- ・草津市 草津未来研究所

草津未来研究所からは、令和4年度に実施した調査研究「草津市における単身世帯に関する調査研究－1人暮らし高齢者に着目して－」と「大学生の意識に着目した草津市の魅力向上のための基礎調査」の概要と、今年度に取り組んでいる「草津市における孤独・孤立に関する調査研究」と「健幸都市くさつの実現に向けた取組に関する調査研究」の計画内容を報告しました。

参加者からは、「単身世帯の研究で男性の孤立対策としてどのようなことが考えられるのか」、「大学生と市民を結びつける仕組みはどのようなイメージか」、「健幸都市に関しては、ウェルビーイングの考えも取り入れた方がいい」などの質問や意見をいただきました。今後も、他の自治体シンクタンクと情報交換、交流を行いながら、草津市での自治体シンクタンクとしての役割を果たせるよう努めていきます。

詳しい草津未来研究所の調査研究内容は草津未来研究所のホームページをご覧ください。

### 調査研究「草津市における単身世帯に関する調査研究」

#### 結果 主観的幸福感

全体の平均値 7.1点  
1人暮らし 6.7点  
1人暮らし以外 7.2点

#### 男女別 主観的幸福感の平均値

| 性別      | 65歳～69歳 | 70歳～74歳 | 75歳～79歳 | 80歳～84歳 | 85歳～89歳 | 90歳以上 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 1人暮らし以外 | 7.1     | 7.2     | 7.1     | 7.0     | 6.8     | 6.8   |
| 1人暮らし   | 5.6     | 5.8     | 5.6     | 6.0     | 6.6     | 6.0   |
| 女性      | 6.5     | 6.7     | 6.6     | 6.5     | 6.4     | 6.4   |
| 1人暮らし以外 | 7.5     | 7.4     | 7.2     | 7.0     | 6.7     | 7.5   |
| 1人暮らし   | 6.8     | 7.0     | 6.9     | 6.8     | 7.5     | 7.4   |

(出所 草津市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(2020))

女性の85～89歳を除き、男女とも1人暮らしの方が主観的幸福感の平均値が小さい。

### 調査研究「大学生の意識に着目した草津市の魅力向上のための基礎調査」

#### 【大学生の意識】

- 学生生活で関心のあることは、学びや学んだことの実践(国や自治体の政策に関わりたい学生も)
- 地域活動に参加したことはないが、参加してみたい(住民との交流や子どもに関する活動の希望が多い)
- 地域活動に参加している学生は卒業後に地域に住みたいとの回答割合が高い

#### 【市民の意識】

- 大学には「地域課題の解決」「地域経済の活性化」「地域を支える人材の育成」を期待
- 大学生には「地域を舞台にした活動」「子どもに関する活動」を期待
- 市と大学には「地域経済の活性化」「環境問題」「教育」分野での連携を期待